

ザッツ ライト That's Right!

第19号

ザッツライトとは……それが権利だ!そのとおり!!という意味です。



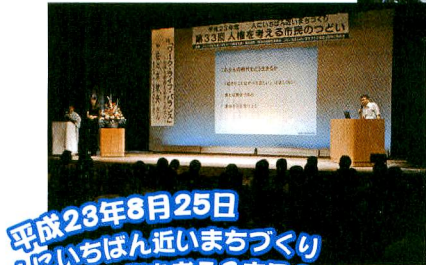
共に幸せを生きる
まちづくり人権講座



STARの活動

ヒューマンシネマフェスタ

フチ国際交流



平成23年8月25日
人にいちばん近いまちづくり
第33回人権を考える市民のつどい



平成23年8月15日
花火大会観覧事業



平成23年2月18日
はばたきフェスタ



平成23年10月29日
親子ドキドキわくわく体験事業

人権週間・記念日

5月	児童福祉週間(5~11日)
6月	男女雇用機会均等月間
	男女共同参画週間(23~29日)
8月	人権強調月間
9月	障害者雇用支援月間・知的障害福祉月間
	老人の日(15日)、老人週間(15~21日)
11月	児童虐待防止推進月間
	女性に対する暴力をなくす運動(12~25日)
12月	世界エイズデー(1日)
	国際障害者デー(3日)
	人権週間(4~10日)



平成23年11月21~23日
オレンジリボン(児童虐待防止)
福知山城ライトアップ

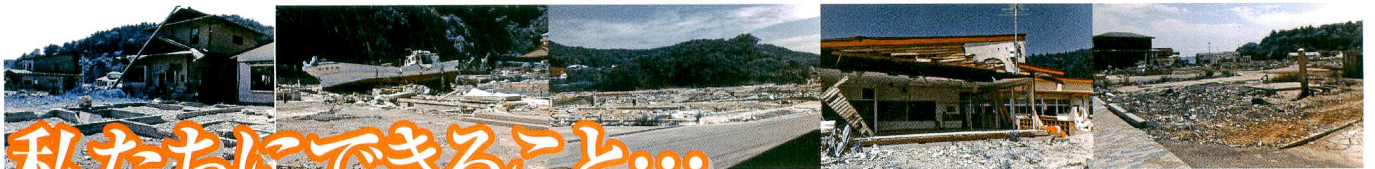
福知山市では、さまざまな人権イベントを開催しています。今年もたくさんのイベントを計画していますので、ぜひご参加ください。

身元調査 しらない・させない・見逃さない

福知山市では、公民館、PTA、婦人会、子ども会指導者連絡協議会等の代表で組織する社会人権教育推進委員会が中心となって、「身元調査お断り運動」の実践に取り組んでいます。

*「身元調査お断りステッカー」は、福知山市教育委員会生涯学習課(TEL.24-7065)で1枚20円で販売しています。





私たちにできること...

★福知山どっこいせ隊★

被災地支援のため、福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会が中心となって、構成団体及び個人ボランティアで「福知山どっこいせ隊」を結成。

昨年7月には、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市で4日間、9月には、台風12号による豪雨被害を受けた和歌山県古座川町で2日間の復旧活動を行いました。



ともに未来をつくること

【福知山どっこいせ隊参加者より】

3月11日の震災以降、何かしなければという想いと、何の経験も知識もない自分に何ができるのかという戸惑いを持ち続けていました。初めてのボランティア活動でしたが、どっこいせ隊に参加して、仲間がいれば自分自身に経験や知識がなくてもできることがあるんだと知りました。ボランティア活動と言うものに対して、高いハードルのようなイメージを持っていましたが、実際にやってみると、自分にできることが誰かの役に立つことで、こんなにも喜びを感じられるんだと気づきました。(35歳・男性)

福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会

平成16年台風23号災害ボランティアセンターの取り組みの中で、日頃からの関係者とのネットワーク及び平常時及び災害時に活動いただけるボランティア活動者の把握をしていく必要性が生まれました。こうした課題を踏まえ、関係者、団体等に呼びかけをし、平成18年9月29日に「福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会」が発足しました。

平成19年2月より災害ボランティア登録制度を創設しています。この登録制度は、事前の登録により災害時のボランティア活動及び平常時には、災害時等に備えての安心・安全の地域づくりを目指して、地域内での見守り・声かけなどのボランティアとして活動していただける個人及び団体に登録いただき、平常時を含め災害時におけるボランティア活動を円滑かつ効果的に推進しようというものです。みなさんの登録をお待ちしています。

登録状況／団体:20団体5,882人／個人:男性51人 女性72人(H24.5時点)

◆お問い合わせ先

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 〒620-0035 福知山市内記10-18 福知山市総合福祉会館内
TEL.0773-23-3573/FAX.0773-24-5282

ボランティア活動を始めませんか!

特別な資格はいりません。「時間ができたので何か活動してみたい」「誰かの役にたちたい」と考えている方は、一度ボランティア活動に参加してみませんか。

あなたの優しさが、多くの人の笑顔につながります

災害救援ボランティア

被災された方々の要望に対する支援を行います。

趣味や特技を生かす活動

手芸・手品・伝統芸・踊りなどを地域や施設に出向いて披露します。

地域での助け合い活動

高齢者のお宅を訪問し、お話し相手や住居の小修繕をします。

外出支援ボランティア

視覚・知的障がい者の外出などを支援します。

環境美化活動

地域の自然や環境を守る活動です。

点訳・朗読ボランティア

視覚障がい者に情報をお届けする活動です。

手話通訳・要約筆記

聴覚障がい者への情報伝達の橋渡しの活動

集めて送るボランティア

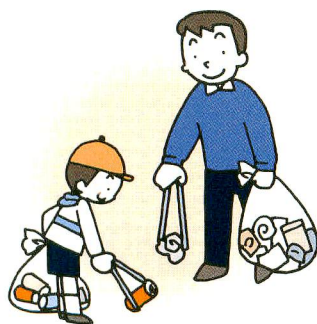
書き損じのハガキや使用済み切手、使用済みのプリペイドカードなどを集めて送ります。

施設ボランティア

施設の利用者のためにするさまざまな活動で、話し相手やレクリエーション活動があります。

子ども見守りボランティア

登下校の見守りや子育ての支援をします。



ボランティア活動には、この他にもいろいろな種類があります。あなたのできることから始めてみましょう。

ボランティアセンターは、「ボランティア活動をしたい人」「ボランティアを必要としている人」の総合相談窓口です。ボランティア活動に関心のある方は、ボランティアセンターへご相談ください。

◆お問い合わせ先

福知山市ボランティアセンター

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 TEL.0773-23-3573/FAX.0773-24-5282

ノーマライゼーション社会実現のために

ノーマライゼーションとは

ノーマライゼーションとは、障害のある人もない人も、社会の一員として、互いに尊重し、支えあいながら、地域でともに生活し活動することができる社会が、社会の本来あるべき姿であるという考え方です。

障害のある人は、その障害の特性により、できないことや不得意ことがあります。また自分の力だけではできないため、介助や支援が必要なこともあります。障害のある人と共に暮らしていくために、適切なサポートや環境づくりが重要です。

障害のある人への配慮の方法を理解して、ちょっとした手伝いをすることによって障害のある人も暮らしやすい社会の実現につながります。

私たちにできること～身体に障害のある人に～

1. 視覚や肢体に障害のある人には、

こんなことに配慮してください。

- ・困っているように見えたら、「お困りですか」「お手伝いしましょうか」と、声をかけてください。
- ・車いすの場合、目線をなるべく合わせて話をしましょう。また車いすを押し前には、「車いすを押しましょうか」と必ず声をかけましょう。
- ・白杖はくじょう（盲人安全つえ）を持つ人を見かけた時は、白杖を持つ人や周辺に危険がないかを見守り、必要があれば「何かお手伝いしましょうか」と声をかけましょう。



2. 聴覚に障害のある人には

こんなことに配慮してください。

- ・声をかけるときは、なるべく正面からかけてください。
話をする際には、なるべく静かな場所で、ゆっくり、はっきりと口を動かして話しましょう。
- ・お互いの話の内容が伝わっているかを確認してください。
伝わりにくい場合は、身振りや絵や文字を書くなど、いろいろな方法を使って伝える努力をしましょう。
- ・コミュニケーションを取る方法としては、手話・筆談・口話（口の動きを読む）・空書（空間に字を書く）などがあります。誰もが手話を使うとは限りません。



知的障害・精神障害について、理解を深めましょう

知的障害とは

知的な能力の発達が、同じ年の人の平均と比べ、ゆっくりとしています。

抽象的な概念の理解、環境変化への適応、予測、学習などが苦手なため、社会生活への適応が困難な場合があります。苦手な分野、障害の状態は人によって違います。軽度の知的障害では、就職し自活している人もたくさんいます。

理解してほしいこと

- ・言葉の理解が不十分なことがあります。また自分の考えていることを的確に表現するのが難しいことがあります。
- ・状況に応じて臨機応変に判断したり、すぐに行動することは苦手なことがあります。
- ・初めてのことを覚えるのには時間がかかることがあります。
- ・同じ質問を繰り返したり、特定の行動にこだわることがあります。
- ・過去の失敗した経験から、消極的になっていることがあります。
- ・外見からは障害があることが分からないために、誤解されることがあります。

こんなことに配慮してください。

- ・声かけは穏やかな口調で、ゆっくり、ていねいにしましょう。
- ・絵や身振りを交えると、会話の内容が伝わりやすくなります。
- ・特定の行動にこだわるがありますが、周りに危険がなければ、見守ってください。

精神障害とは

精神疾患により、精神機能（意識・思考・感情・知覚・意欲・記憶等）に障害がおこるために、生活上の困難がある状態です。脳の一部分が活発に働きすぎていること、または機能低下していることにより症状があらわれます。

〈精神疾患〉統合失調症、気分障害（うつ病）、アルコール・薬物などの依存症、不安障害、認知症など

生活上の困難

- ・緊張しすぎるために周囲の環境になじみにくいことがあります。
- ・対人関係の困難（頼めない、断れない、他者に流される）があることがあります。
- ・自分の気持ちをうまく伝えられないことがあります。
- ・長い時間集中することが苦手（作業を続けられない）なことがあります。
- ・疲れやすく、体調の波があることがあります。
- ・状況の変化が苦手で、臨機応変な判断がしづらいことがあります。
- ・多くの課題を手際よく処理するのが苦手なことがあります。

これらのことから自信をなくしたり、周りの人からは「やる気がない」と見られることがあります。

こんなことに配慮してください。

- ・励まされることは、本人のストレスになることがあります。
- ・本人のペースを尊重しましょう。
- ・体調の変化に気づいたら、休むように促してください。

精華小学校の人権教育

学校教育目標

自ら学び 心豊かにたくましく生き
ふるさとを愛する子の育成
《やる気・根気・元気 笑顔 ふれあい 精華の子》

人権教育基本方針

教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、児童生徒の実態を的確に把握して、学力の充実・向上や進路保障につとめる。また、基本的人権を尊重する精神を養い、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人などに対する差別や人権侵害など、様々な人権問題を自分自身の問題として捉え、主体的に解決を図る意欲と実践力を持った児童生徒を育成する。

具体的な取組の紹介

学力充実と進路保障

T・T授業

きめ細やかな指導



全校一斉朝学習

国語タイム

国語ドリルを1人1冊やりきる

計算タイム

漢字検定
に挑戦!

読書タイム
「お勧め本」
の読破!

シリーズ「夢」集会

いろいろな職業の方を校区からお招きし、お仕事のやりがいや、小学生からがんばっておくべきことを話していただく。



豊かな人権感覚を育てる人権学習

高齢者施設の 訪問・交流



キラキラ旬間

PTA
人権研修

「人権の花」 の取組



性に関する教育

生命を大切にする
心の育成

人権学習

- ・人権問題の正しい理解
- ・参加型学習の充実

障害や
障害のある人の
理解教育

人権尊重のための技能・能力の育成

バースデー スピーチ

誕生日を迎える児童が自己紹介文を書いて覚え、全校児童の前で発表。全員で「おめでとう」の言葉と拍手を贈る温かな時間。



自尊感情の育成

コミュニケーション 能力の育成

修学旅行で英語を使ってインタビュー



人権尊重を基盤にした環境作り

かがやきコーナー

全校児童の「いいところ見つけ」の取組



バースデーコーナー

全校児童の誕生日を掲示



東日本大震災で被災した学校との交流手紙と、ふうせんかずらの種を贈り交流。

上六人部小学校の人権教育

学校教育目標

生きた学力と豊かな心を身に付け、未来を切り拓くたくましい児童の育成

目指す児童像 かしこく やさしく たくましく

実践目標

- (1) 児童の人権感覚を確かなものにするために、「幸せを生きる」や「人権学習資料集」を活用し、普遍的な視点からのアプローチと個別的な視点からのアプローチにより、組織的・計画的・継続的な人権教育を推進する。
- (2) 一人一人の児童の人権教育上の課題を十分に把握し、個を大切に教育を進める中で、互いの個性や価値観の違いを認め尊重しあう態度や実践力を育成する。
- (3) 基礎的・基本的な学習内容の定着に努めるとともに、児童の実態を把握し、個に応じた指導の充実に努める。
- (4) 様々な人とのふれあいや体験・交流活動、自分の思いを伝え合う活動を通して、自分を積極的に表現したり相手の立場や心情を理解し合ったりして、共に生きようとする態度の育成を図る。

具体的な取組の紹介

人権学習の充実

年間計画に沿っていろいろな視点から人権学習を行っています。体験学習やスキル学習も行っています。



親子と一緒にスキル学習
「おしゃべりしよう」



アイマスク体験

学力の充実

児童一人一人の課題に即して基礎学力の定着を図っています。

- 年7回のチャレンジテスト(漢字・計算)の実施
- 複数体制による補充学習の実施
- わくわく算数プリント、つながロックタイムによる計算力や言語力の育成
- 読書タイム、昼学習の実施

人権旬間の取組

前期と後期の2回人権旬間を設け、自尊感情を育む、他者理解を図る取組などを行っています。学級や委員会も全校遊びや詩の掲示などそれぞれ取組を考え実施します。また、年5回わくわくタイムの時間を設け、スピーチを行ったり「友達集まれ」など全校でのスキル学習を行っています。

友達のよいところを見つけ



はっぴいメール



教職員による読み聞かせ



はっぴいの木

ふれあい活動の充実…地域人材活用

地域の方との交流や地域の方から学ぶ学習を年間を通じて計画的に行っています。

地域ふれあい交流会



ふれあいタイム(肩たたき)



大豆の学習



花植え



ボランティアの方による
週1回の読み聞かせ



年1~2回行う人権講演会



ごみステーションへ
人権標語の掲示

沖縄 ～日本復帰40周年～

亜熱帯海洋性気候で年間を通して暖かい沖縄。さんご礁をはじめとした自然の美しさは、国内だけでなく世界的にも屈指のものです。また、中国・東南アジアからの影響も受け、他県とは異なった独自の文化・歴史を築いてきました。現在は、日本有数のリゾート地として栄え、多くの観光客が沖縄を訪れています。

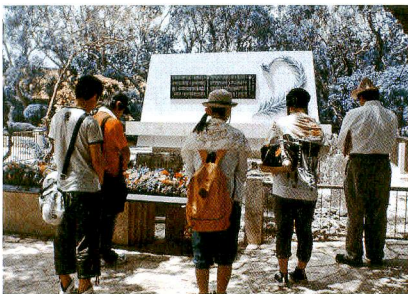


1429年琉球王国が成立すると、日本や中国、東南アジアの国々との外交・交易により黄金時代を迎えます。現在沖縄の伝統工芸品である焼物や織物などの技術が伝わったのもこの頃です。しかし1609年薩摩藩の武力侵攻を受けた琉球は、その後薩摩の支配下に置かれます。明治になると、政府はこれまで日中両属関係の状態にあった琉球王国について、1872年琉球藩を設置し中国との関係を絶たせた後、さらに1879年琉球藩を廃して沖縄県を設置し、段階的に日本の版図に組み込みました。これらの琉球藩設置から沖縄県設置までの一連の流れを「琉球処分」といい、これにより450年にわたる琉球王国の歴史は幕を閉じます。

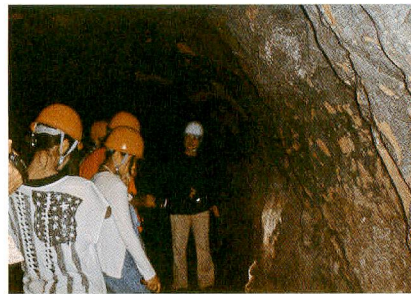
その後沖縄県民が他の県民と同じ国民としての権利を得るまでには、時間がかかりました。

沖縄は太平洋戦争に巻き込まれ、本土決戦のための捨石と位置付けられて、大規模な地上戦が行われました。およそ3ヶ月にわたる米軍との戦いは、銃弾や艦砲射撃の砲弾が雨のように降り注いだことから「鉄の暴風」と呼ばれるほど過酷なもので、多くの住民も犠牲になり、当時の沖縄の人口の4分の1の住民が亡くなったといわれています。また、戦争には今の中高校生にあたる男子学生が通信兵や特攻切り込み兵として、ひめゆり学徒隊のような女学生たちは補助看護婦として参加させられました。

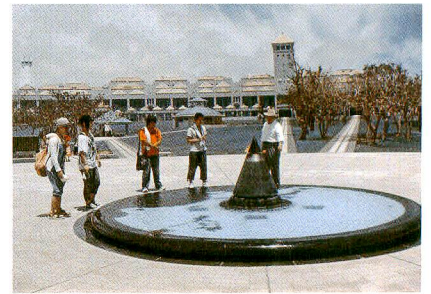
1945年日本がポツダム宣言を受け入れて降伏すると、沖縄はアメリカの直接統治を受け、広大な基地が次々と建設されました。アメリカの統治の間、沖縄の人々の自治権や人権が踏みにじられる出来事が多発し、その結果、本土復帰への機運が高まり、1972年ようやく日本へ返還されました。本土復帰を果たしたものの、いまだ米軍基地が島の多くを占める現実があります。



ひめゆりの塔



ガマ(沖縄の方言で洞窟)
(沖縄戦では住民や日本兵の避難場所、野戦病院として利用された)



平和の礎

福知山市では、沖縄の今日的な課題を自らの問題としてとらえ、あらゆる差別を許さない人材を育成するために、沖縄人権文化体験研修を実施しています。

今年も8月5日(日)～7日(火)の3日間、沖縄を訪れ戦争の悲惨さと平和の尊さを学習します。

また、学んできたことを学校や地域で啓発する活動も行っていますので、ぜひ報告会などにご参加ください。

